

令和7年度
和歌山市社会教育委員

第2回定例会議議案書

日 時 令和7年8月29日（金）
午後2時30分～午後4時30分（予定）

会 場 勤労者総合センター 6階 文化ホール

教育学習部 生涯学習課

第2回定例会議次第

1 開会

2 議題

(1) 令和8年度社会教育関係補助金要求(案)について

(2) 令和6年度家庭教育支援基盤構築事業について

(3) 社会教育活動に対する壮年層へのアプローチの仕方について

3 その他

4 閉会

議題（１）

令和８年度社会教育関係補助金要求（案）（生涯学習課）

（単位：千円）

款	目	名称	令和８年度 要求（案）	令和７年度 予算額	資料 (ページ)
教育費	生涯学習振興費	ユネスコ運営補助金	45	45	3
		P T A 育成補助金	727	727	4～7
		合計	772	772	

令和８年度の補助金の方針

世界中で様々な問題が発生している昨今、平和や文化を愛する心を育むための地道な活動が必要になってきており、平和教育・次世代育成・災害児教育支援・世界遺産活動等を行っているユネスコ協会の活動は、本市としても推進していくべきと考えますので、令和７年度と同額とします。

また、学校・家庭・地域の連携が必要とされる現代社会において、学校と家庭をつなぐ重要な架け橋的な役割を果たしていますP T Aが、研修活動等により知識を深め、交流を図ることは、大変重要であり、今後も継続していくべきと考えていますので、令和７年度と同額とします。

つきましては、生涯学習課の令和８年度補助金額要求（案）は、令和７年度予算額と同額である772,000円とします。

(生涯学習) 課

補助金名	ユネスコ運営補助金
団体名	和歌山ユネスコ協会
団体会員数 (R7)	49名
根拠法令等	ユネスコ活動運営補助金交付要領
交付理由	貧困や差別、紛争の拡大、環境破壊など、世界中で様々な問題が発生している昨今において、平和や文化を愛する心を育むための地道な活動が必要になってきており、平和教育・次世代育成・災害時教育支援・世界遺産活動等を行っているユネスコ協会の活動は、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。
交付に至った経緯	1948年から活動を続けてきている和歌山ユネスコ協会の実施する事業を支援することで、ユネスコ憲章に謳われている理念の実現を目指すため。

	令和8年度 (予定)	令和7年度
交付先団体予算額	400,000	400,000
補助金額	45,000	45,000

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	平和の鐘打鐘会	世界平和を祈念し、8月15日正午から黙祷、打鐘を実施する。	岡山時鐘堂
②	大晦日の鐘をつこう会	大晦日に、平和を祈念し、旧年を払い、新年を迎えるために参加者に鐘をついてもらう。	岡山時鐘堂
③	ピースウォーク	世界遺産「熊野古道」を歩き、平和文化創造のための理解を深めるために毎年コースを変え、実施。	毎年コースは変わる (R7 高野町)
④	書き損じはがき回収キャンペーン	教育の機会に恵まれてなかった大人たちの教育支援に役立てることを目的に、書き損じはがき回収を行う。	—

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
事業費	平和の鐘PRグッズ購入等	①②③

(生涯学習) 課

補助金名	P T A 育成補助金
団体名	幼稚園 P T A 連合会
団体会員数 (R 7)	2 4 4 名
根拠法令等	和歌山市 P T A 育成補助金交付要領、和歌山市補助金等交付規則
交付理由	園児の健全育成を願い、P T A 会員自身の教養を高め、会員相互の連携を深めるとともに、活動の活性化と地域の教育力の向上を図るため。
交付に至った経緯	幼稚園運営に欠かせない P T A 活動を支援することは、園児の健全育成はもとより、地域の教育力を向上させ、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。

	令和 8 年度 (予定)	令和 7 年度
交付先団体予算額	314, 000	314, 631
補助金額	115, 000	115, 000

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	文化講演会	各園がいろいろな形で講演会を開催する。	各園
②	ふれあい訪問	各園を希望園が訪問、組織、活動等について、意見交換し、交流する。	希望園
③	スポーツ大会費	各園で、講師を招いたり、園独自で、スポーツ (遊び) 親子交流会を実施する。	各園

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
文化講演会費	各園で、講師を招いたり、園長が講師となり、いろいろなテーマで講演会を開催する。	①
ふれあい訪問補助費	各園を希望園が訪問し、意見交換をして交流する。	②
スポーツ大会費	各園で、講師を招いたり、園独自で親子交流会を実施する。	③

(生涯学習) 課

補助金名	P T A 育成補助金
団体名	小学校 P T A 連合会
団体会員数 (R 7)	1 5 , 9 9 9 名
根拠法令等	和歌山市 P T A 育成補助金交付要領、和歌山市補助金等交付規則
交付理由	児童の健全育成を願い、P T A 会員自身の教養を高め、会員相互の連携を深めるとともに、活動の活性化、地域の教育力の向上を図るため。
交付に至った経緯	小学校運営に欠かせない P T A 活動を支援することは、児童の健全育成はもとより、地域の教育力を向上させ、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。

	令和 8 年度 (予定)	令和 7 年度
交付先団体予算額	2, 746, 000	2, 746, 322
補助金額	357, 000	357, 000

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	役員理事会	連合会役員、各 P T A 会長が一堂に集まり、連絡協議を行う。	市役所 14 階大会議室他
②	小学校 P T A 研修会	6 分科会と全体会での講演会 (「 未来を担う子供たちが笑顔で過ごすことができるような環境づくりのための P T A 活動の改善、充実に努めること 」) を目的に研修会を開催。	北コミュニティセンター
③	連合会総会	年 1 回定例会を開催し、役員改選、決算報告、予算その他必要事項について審議を行う。	ホテルグランヴィア 和歌山 (R 7)
④	近畿 P 研究大会 (奈良)	近畿から集まる P T A の仲間と、学びや体験を共有する。また、交流を通して縁をつむぐ。	R7 近 P (大阪)

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
事務局費	事務用品 (コピー用紙) 等	①
総会費	総会議案書印刷、会場費等	③
各部補助金	5 1 小学校を 6 部に分け、各校に活動補助金として支払う。	①
研修費	見学研修費、近 P 交通費補助、研修会講師謝金、冊子印刷等	②④

(生涯学習) 課

補助金名	P T A 育成補助金
団体名	中学校 P T A 連合会
団体会員数 (R 7)	7 , 4 8 3 名
根拠法令等	和歌山市 P T A 育成補助金交付要領、和歌山市補助金等交付規則
交付理由	生徒の健全育成を願い、P T A 会員自身の教養を高め、会員相互の連携を深めるとともに、活動の活性化、地域の教育力の向上を図るため。
交付に至った経緯	中学校運営に欠かせない P T A 活動を支援することは、児童の健全育成はもとより、地域の教育力を向上させ、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。

	令和 8 年度 (予定)	令和 7 年度
交付先団体予算額	1, 888, 000	1, 888, 050
補助金額	233, 000	233, 000

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	連絡協議会	連合会役員、各 P T A 会長が一堂に集まり、連絡協議を行う。年 3 回	市役所 14 階大会議室他
②	シンポジウム	6 つの分科会に分かれ、他校の P T A のメンバーと共に P T A 活動や子供たちへの関わり、悩みなど、様々な意見交換、情報を共有する。	北コミュニティセンター
③	日本 P T A 研究大会 近畿 P T A 研究大会 (奈良)	近畿、全国から集まる P T A の仲間と、学びや体験を共有する。また、交流を通して縁をつむぐ。	R7 日 P (石川) 近 P (大阪)

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
事務局費	事務用品 (コピー用紙) 、事務局運営等	①②
行動費	日 P 、近 P 研究大会への参加者交通費補助	③

(生涯学習) 課

補助金名	P T A 育成補助金
団体名	和歌山市立和歌山高等学校育友会
団体会員数 (R7)	748名
根拠法令等	和歌山市P T A 育成補助金交付要領、和歌山市補助金等交付規則
交付理由	生徒の健全育成を願い、P T A 会員自身の教養を高め、会員相互の連携を深めるとともに、活動の活性化と地域の教育力の向上を図るため。
交付に至った経緯	高等学校運営に欠かせないP T A 活動を支援することは、生徒の健全育成はもとより、地域の教育力を向上させ、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。

	令和8年度 (予定)	令和7年度
交付先団体予算額	21,830,000	21,830,000
補助金額	22,000	22,000

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	市高体育祭、文化祭	体育活動や文化活動の中で、生徒たちの相互の交流を図る。	運動場等

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
行事費	市高体育祭で、タオルと飲料を配布	①

令和 8 年度社会教育関係補助金要求（案） （青少年課）

（単位：千円）

款	目	名称	令和 8 年度 要求（案）	令和 7 年度 予算額	資料 (ページ)
教育費	人権教育費	地域青年リーダー育成補助金	51	51	9
	青少年教育費	ボーイスカウト育成補助金	125	125	10
		ガールスカウト育成補助金	67	67	11
		ボーイスカウト和歌山地区振興大会補助金	0	500	—
		ボーイスカウト日本ジャンボリー参加補助金	700	0	12
		ガールスカウト和歌山地区キャンポリー開催補助金	244	0	13
		合計	1,187	743	/

令和 8 年度の補助金の方針

ボーイスカウト及びガールスカウトに対する補助については、児童数の減少により団体の構成児童数そのものが減少となりつつありますが、子供・若者の健全な育成と青少年教育の振興を目的とした活動団体であるため支援する必要があると思われま。地域青年リーダー育成補助金についても、地域づくりの一翼を担っていることから、引き続き補助が必要であると思われま。

ボーイスカウトの開催補助金については、4年に1度ずつ異なる内容で補助金を要求するため、令和8年度は和歌山地区振興大会補助金に代わり日本ジャンボリー参加補助金を要求する予定です。

また、ガールスカウトの和歌山地区地区キャンポリーについても、4年に1度の頻度で開催されており、令和8年度に開催補助金を要求予定です。

したがって、青少年課の令和8年度の補助金（案）については、令和7年度予算額から444千円の増額要求となる予定です。

(青少年) 課

補助金名	地域青年リーダー育成補助金
団体名	杭ノ瀬地区青年団
団体会員数 (R7)	30名
根拠法令等	和歌山市地域青年リーダー育成補助金交付要綱
交付理由	人権問題の解決を目指し、地域青年団の育成を積極的に推進する事業への補助。
交付に至った経緯	高等学校の生徒や、その年代を中心とする青少年が地域づくりの担い手として地域参加促進を図ることの重要性を考慮したもの。

	令和8年度 (予定)	令和7年度
交付先団体予算額	125,000	125,000
補助金額	51,000	51,000

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	定例会	部落問題に関する学習会や事業の準備・打合せ	杭ノ瀬児童・地区福祉センター
②	地区内ボランティア活動	子ども会行事(夏まつり)への参加・指導	杭ノ瀬児童・地区福祉センター
③	研修会	他の部落青年団体との研修会への参加	福岡県福岡市

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
教材費	部落問題学習会に係る教材費用	①
食糧費	夏まつり参加・指導時のお茶代	②
交通費	研修会参加に伴う交通費	③

(青少年) 課

補助金名	ボーイスカウト育成補助金
団体名	日本ボーイスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R7)	279名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業に対しての補助。
交付に至った経緯	ボーイスカウトの活動を補助することで、和歌山市の青少年教育を発展させるため。

	令和8年度 (予定)	令和7年度
交付先団体予算額	250,000	250,000
補助金額	125,000	125,000

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	なかよしまつり	市のこどもまつり、パレード参加に参加し、組織のPRにつなげる。	和歌山城周辺
②	JOTA・JOTI	世界のスカウトとアマチュア無線インターネットで交流を体験する。	西脇小学校
③	ビーバーディ・カブラリー	ビーバー・カブスカウトが集まり、日頃訓練している技能の競争を通じ一層の向上意識を育てる。	河西公園
④	オーバーナイトハイク	ボーイスカウト・カブスカウトが夜間ハイクを行い、技能の向上と夜間防災行動の体験をする。	和歌山市内
⑤	和歌山ジャズマラソン奉仕	ジャズマラソンのスタート補助をする。	マリーナシティ

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
消耗品費	参加章、工作材料等	②③④
委託料	会場看板・掲示物設置	①②③④
印刷製本費	イベント配布用資料・パンフレットの印刷	①②③④
食糧費	奉仕者の飲み物	①⑤

(青少年) 課

補助金名	ガールスカウト育成補助金
団体名	ガールスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R7)	136名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業に対しての補助。
交付に至った経緯	ガールスカウトの活動を補助することで、和歌山市の青少年教育を発展させるため。

	令和8年度 (予定)	令和7年度
交付先団体予算額	134,000	134,000
補助金額	67,000	67,000

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	なかよしまつり	地域社会への参加・協力を体験し、併せて広報活動を行う。	和歌山城周辺
②	ジュニアキャンプ	野営の訓練を中心にスカウト同士の友情を深め、協力する精神を養う。	紀北青少年の家
③	入会入団説明会	広報活動を行い、会員の拡大につなげる。	西コミュニティセンター
④	花ブラウニーキャンプ	小学3年生のスカウトを対象とし、日頃の訓練の成果を確認し交流を深め、ジュニア部門へフライアップする意欲を高める。	青少年国際交流センター

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
教材費	キャンプ参加費補助	②④
印刷製本費	体験集会チラシ印刷等	①③
消耗品費	コピー用紙、インクカートリッジ等	③
交通費	駐車場代等	①③

(青少年) 課

補助金名	ボーイスカウト日本ジャンボリー参加補助金
団体名	日本ボーイスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R7)	279名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業に対しての補助。
交付に至った経緯	ボーイスカウトの日本ジャンボリー参加を補助することで、和歌山市の青少年教育を発展させるため。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	1,400,000	—
補助金額	700,000	—

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	ボーイスカウト日本ジャンボリー	4年に1度全国のボーイスカウト及び青少年育成機関の関係者が集まり、共同キャンプ生活を通じて日頃のスカウト活動の成果を実践し、スカウト運動の振興を図る。	未定

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
参加費	日本ジャンボリーの参加費	①
旅費	会場までの旅費	①
消耗品費	参加賞等	①
印刷製本費	大会プログラム等	①
会場その他借上料	会場借上料	①

補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>4年に1回、全国のボーイスカウト及び青少年育成機関の関係者が集まり、共同キャンプ生活を通じて日頃のスカウト活動の成果を実践する。</p> <p>大会を通じスカウト相互の友誼を深めるとともに、ボーイスカウト運動の振興を図っている。</p>

(青少年) 課

補助金名	ガールスカウト和歌山地区キャンポリー開催補助金
団体名	ガールスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R7)	136名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業に対しての補助。
交付に至った経緯	ガールスカウトの活動を補助することで、和歌山市の青少年教育を発展させるため。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	488,000	—
補助金額	244,000	—

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	ガールスカウト和歌山地区キャンポリー	和歌山市内の各団の交流と親睦を図ることを目的とし、4年に一度「ガールスカウト和歌山地区キャンポリー」を実施する。	未定

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
旅費	交通費	①
消耗品費	教材代、参加記念品代、事務用品費等	①
印刷製本費	キャンプ冊子、資料作成の印刷代	①
通信運搬費	郵便代	①
備品購入費	案内板、PRパネル等	①

補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>4年に1回、ガールスカウト和歌山地区協議会加盟各団のスカウトが一堂に会したキャンプ大会を行う。</p> <p>大会を通じスカウト相互の友誼を深めるとともに、和歌山地区におけるガールスカウト運動の振興を図っている。</p>

令和 8 年度社会教育関係補助金要求（案） （文化振興課）

（単位：千円）

款	目	名称	令和 8 年度 要求（案）	令和 7 年度 予算額	資料 (ページ)
総務費	文化振興費	和歌山児童合唱団定期演奏会事業補助金	100	100	15
		和歌山市民合唱団発表会事業補助金	95	95	16
		総合文化事業補助金	250	250	17
		視覚障害者文化振興事業補助金	95	95	18
		和歌山市民オペラ振興事業補助金	100	100	19
		紀州民芸盆栽協会育成事業補助金	35	35	20
		和歌山市交響楽団育成事業補助金	240	240	21
		和歌山市吹奏楽団育成事業補助金	120	120	22
		和歌山市合唱団協議会育成事業補助金	240	240	23
		合計	1, 275	1, 275	/

令和 8 年度の補助金の方針

文化振興補助金は、音楽や美術展覧会など、市民に広く文化芸術の鑑賞を提供することを目的とし、本市において活動する各分野を代表する文化団体主催の文化振興事業に対し補助金を交付しているものです。

また、本市として、和歌山市文化芸術基本条例にある文化芸術を通じて文化芸術に親しむ人の裾野を広げ、誰もが郷土に誇りと愛着を感じ、心豊かで生きる喜びが実感できるまちを推進していくという方針に則り、その中核事業として文化団体活動支援事業を継続していくものです。

補助金額は、令和 8 年度の事業に要する事業費が今年度と同規模であるとのことから、令和 8 年度も本年度と同額としています。今後も会員数や観客数の増減といった変化の把握に努め、本市の文化振興に対する影響について検討を続けます。

(文化振興) 課

補助金名	和歌山児童合唱団定期演奏会事業補助金
団体名	和歌山児童合唱団
団体会員数 (R7)	80名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山児童合唱団に補助金を交付することにした。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	469,000円	469,000円
補助金額	100,000円	100,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	和歌山児童合唱団定期演奏会	児童による合唱演奏会	和歌山城ホール

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上費	合唱演奏会会場の借上料	①
印刷製本費	チラシ、チケット、プログラム作成	①
通信運搬費	案内状、お礼状等	①

(文化振興) 課

補助金名	和歌山市民合唱団発表会事業補助金
団体名	和歌山市民合唱団
団体会員数 (R7)	30名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市民合唱団に補助金を交付することとした。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	623,500円	623,500円
補助金額	95,000円	95,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	和歌山市民合唱団発表会	年一回開催の混声合唱発表会	和歌山城ホール

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	発表会場等の借上料	①
舞台技術料	和歌山城ホール備品使用料及びピアノ調律料等	①
印刷製本費	プログラム、チラシ、チケット等作成料	①
通信運搬料	案内状、礼状の郵送料	①
著作権料	演奏、プログラム掲載に係る著作権料	①

(文化振興) 課

補助金名	総合文化事業補助金
団体名	和歌山文化協会
団体会員数 (R7)	270名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地位社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山文化協会に補助金を交付することとした。

	令和8年度 (予定)	令和7年度
交付先団体予算額	3,490,000円	3,490,000円
補助金額	250,000円	250,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	総合美術展や演劇公演など	8部門が行う美術展や演劇公演の開催	和歌山城ホール等

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	展示・演劇会場等の借上料	①
舞台技術料	和歌山城ホール備品使用料等	①
印刷製本費	各種プログラム、総会資料等作成料	①
通信運搬費	案内状、ポスター送付料	①

(文化振興) 課

補助金名	視覚障害者文化振興事業補助金
団体名	和歌山市視覚障害者福祉協会
団体会員数 (R7)	78名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市視覚障害者福祉協会に補助金を交付することとした。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	218,000円	218,000円
補助金額	95,000円	95,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	各種教室開催	点字、文化教室、公演会など	ふれ愛センター

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
舞台技術料	教材作成料、点訳料	①
印刷製本費	資料作成費	①
通信運搬費	協会ホームページ維持管理費	①

(文化振興課) 課

補助金名	和歌山市民オペラ振興事業補助金
団体名	和歌山市民オペラ協会
団体会員数 (R7)	43名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市民オペラ協会に補助金を交付することとした。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	7,000,000円	7,000,000円
補助金額	100,000円	100,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	和歌山市民オペラ定期公演	創作オペラの公演会	和歌山城ホール

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借り上げ料	公演会場、練習会場の使用料	①
舞台技術料	舞台設備等の使用料	①
印刷製本量	プログラムやチラシの作成費用	①
通信運搬料	チラシ等の郵送費用	①

(文化振興課) 課

補助金名	紀州民芸盆栽協会育成事業補助金
団体名	紀州民芸盆栽協会
団体会員数 (R7)	55名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている紀州民芸盆栽協会に補助金を交付することとした。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	485,000円	485,000円
補助金額	35,000円	35,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	展示会の開催	「花と心のたび」展	和歌山県公館

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	会場及び部品使用料	①
舞台技術料	会場設営費	①
印刷製本費	案内状作成費等	①
通信運搬費	案内状送付	①

(文化振興) 課

補助金名	和歌山市交響楽団育成事業補助金
団体名	和歌山市交響楽団
団体会員数 (R7)	80名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市交響楽団に補助金を交付することとした。

	令和8年度 (予定)	令和7年度
交付先団体予算額	950,000円	950,000円
補助金額	240,000円	240,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	定期演奏会	年1回開催される定期演奏会	和歌山城ホール
②	和歌山市交響楽団・市響合唱団演奏会	交響楽団と合唱団の合同演奏会	和歌山城ホール

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	会場等使用料	①②
舞台技術料	設備利用料等	①②
印刷製本費	パンフレット等印刷費	①②
通信運搬費	郵送費等	①②
著作権料	楽曲使用料	①②

(文化振興) 課

補助金名	和歌山市吹奏楽団育成事業補助金
団体名	和歌山市吹奏楽団
団体会員数 (R7)	50名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付金要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市吹奏楽団に補助金を交付することとした。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	1,194,000円	1,194,000円
補助金額	120,000円	120,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	定期演奏会	年2回開催される定期演奏会	和歌山城ホール

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	会場使用料等	①
舞台技術料	設備利用料等	①
印刷製本費	案内チラシ、プログラム等作成費	①
通信運搬費	案内ハガキ郵送料等	①

(文化振興) 課

補助金名	和歌山市合唱団協議会育成事業補助金
団体名	和歌山市合唱団協議会
団体会員数 (R7)	500名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市合唱団協議会に補助金を交付することとした。

	令和8年度(予定)	令和7年度
交付先団体予算額	590,000円	590,000円
補助金額	240,000円	240,000円

補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	コーラスフェスティバル	26団体による合唱公演	和歌山城ホール
②	合唱講習会	著名な指導者による講習会	和歌山市西コミュニティーセンター

補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	公演会会場等の借上料	①②
舞台技術料	和歌山城ホール備品利用料	①
印刷製本費	チラシ、プログラム等作成費	①②
通信運搬費	郵送費等	①②

議題（2）

令和6年度家庭教育支援基盤構築事業について

【地域における家庭教育支援基盤構築事業】（国庫補助金）

担当課	生涯学習課
事業目的	全ての保護者の方々が、安心して子育てについて学び、語り合い考えることのできる学習機会を提供するとともに、家庭教育支援サポーター（以下、「かてサポ」という。）による活動を広く展開していくことを目的としています。

○令和6年度 決算

	予算	決算
補助対象経費	321,056円	245,978円
内訳		
講師謝金	102,720円	70,920円
消耗品費	16,500円	26,688円
食糧費	5,600円	1,150円
傷害保険料	1,000円	1,000円
業務委託料	123,956円	74,580円
会場借り上げ料	71,280円	71,640円

※国費内示額 81,000円 ※千円未満切り捨て
（補助対象経費の1/3補助）

○令和6年度事業実績

(1) 和歌山市家庭教育支援サポーター養成講座			
日程	8/20 (火) 8/21 (水) 8/27 (火) 8/28 (水)	場所	あいあいセンター 6階ホール
概要	家庭教育に興味や関心のある人や、これから家庭教育の支援者として活動していきたいと考えている人、すでに支援者として活動している人などを対象に、保護者の方々の育児や子育てに関する相談に気軽に応じるなどの、家庭教育支援サポーターを養成する講座を実施。令和6年度は6名の登録があった。		
(2) 小学校就学時健診等へのかてサポ派遣			
日程	10/10 (楠見東小) 10/11 (広瀬小) 2/7 (四箇郷小) 2/13 (広瀬小) 2/14 (楠見西小・楠見東小)		
場所	各小学校		
概要	かてサポを派遣し、家庭教育に関する相談受付を実施。 合計15名の「かてサポ」が、各小学校を訪問した。		
(3) 食育講座（おやこでお料理まなび隊）			
日程	11/16	場所	北コミュニティセンター
概要	和歌山市中央卸売市場のご協力のもと、家庭教育の一環として、親子で一緒に食育を学んだ。講師を含む6名の「かてサポ」が参加し、調理説明・補助を行い、親子のコミュニケーションの促進に取り組んだ。		

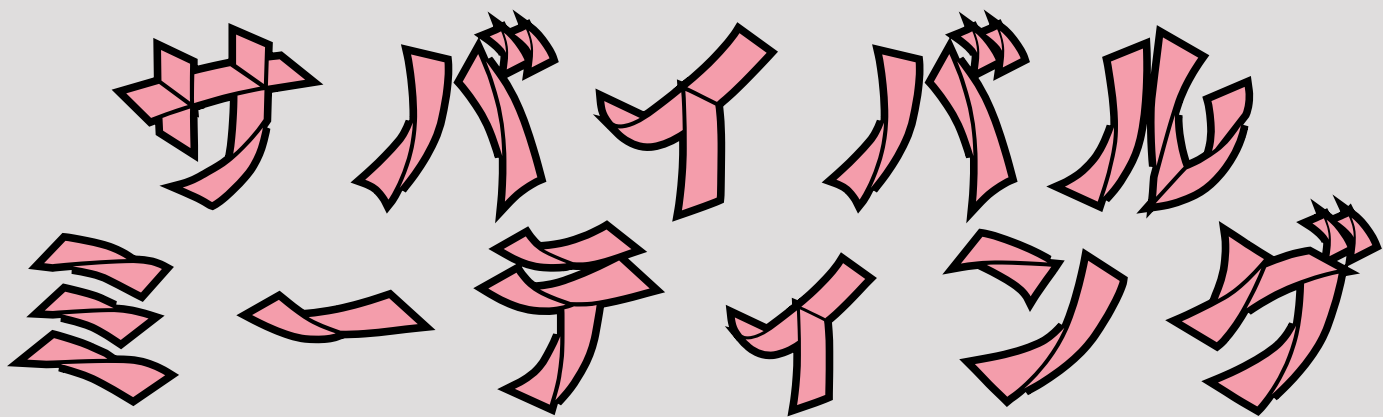
議題（3）

社会教育活動に対する壮年層へのアプローチの仕方について

・実践活動に向けた現在の進捗について

概要	<p>地域社会の担い手として期待される「壮年層」（おおむね30代～50代）に対する社会教育活動への参加促進を目的に、令和7年度に砂山地区をモデルケースとして、実践活動を実施する。</p> <p>壮年層との接点を持つことを目指し、まずは、小学生を対象とした地域イベントを開催し、その保護者である壮年層に対しても、地域で活動する社会教育団体の存在をアピールする。</p> <p>また、壮年層は家庭・仕事等で多忙な時期にあたり、地域活動への関与が限定的であることから、自然な形で地域との接点を持ってもらうことを狙いとし、子供をきっかけに保護者も巻き込み、地域活動への関心と理解を促し、将来的な参画へとつなげていく段階的なアプローチを進める。</p>																						
実施主体	はぐみ-YELL 砂山																						
参加者 (敬称略)	<p>プロジェクトメンバー（11団体）</p> <table border="1" data-bbox="244 813 1541 1111"> <tr> <td>連合自治会</td> <td>公民館</td> <td>社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>消防分団</td> <td>地域活動連絡協議会</td> <td>婦人会</td> </tr> <tr> <td>地域安全推進委員会</td> <td>民生児童委員会</td> <td>連合老人クラブ</td> </tr> <tr> <td>むつみ保育園父母の会</td> <td>摂南大学現代社会学部 F A L 和歌山市チーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">オブザーバー</td> </tr> <tr> <td>和歌山市社会教育委員</td> <td>和歌山市社会福祉協議会</td> <td>和歌山市生涯学習課</td> </tr> </table>			連合自治会	公民館	社会福祉協議会	消防分団	地域活動連絡協議会	婦人会	地域安全推進委員会	民生児童委員会	連合老人クラブ	むつみ保育園父母の会	摂南大学現代社会学部 F A L 和歌山市チーム		オブザーバー			和歌山市社会教育委員	和歌山市社会福祉協議会	和歌山市生涯学習課		
連合自治会	公民館	社会福祉協議会																					
消防分団	地域活動連絡協議会	婦人会																					
地域安全推進委員会	民生児童委員会	連合老人クラブ																					
むつみ保育園父母の会	摂南大学現代社会学部 F A L 和歌山市チーム																						
オブザーバー																							
和歌山市社会教育委員	和歌山市社会福祉協議会	和歌山市生涯学習課																					
実施状況	<p>1. 実行委員会の開催状況</p> <table border="1" data-bbox="284 1160 1497 1391"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>主な議題</th> <th>参加メンバー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>令和7年4月16日</td> <td>プロジェクト趣旨・背景説明、メンバー紹介</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和7年5月22日</td> <td>プロジェクト名称決め、イベント内容検討</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>令和7年6月18日</td> <td>イベント内容決定、開催日決定</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>令和7年8月13日</td> <td>事前認識合わせ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 取り組みの内容（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■場所 和歌山市西コミュニティセンター ■開催内容 サバイバルミーティング（令和7年8月18日：西コミュニティセンター） <ul style="list-style-type: none"> 第1部 13:30～14:30 地域安全課による防災すごろく・防災バックの実演 第2部 15:00～16:00 キャタピラーエスケープの実施 第3部 16:00～フリータイム ■広報活動 小学校・コミュニティセンターでリーフレットを配布。 <p>3. 当日の様子 別紙参照</p>			回数	開催日	主な議題	参加メンバー	第1回	令和7年4月16日	プロジェクト趣旨・背景説明、メンバー紹介	12名	第2回	令和7年5月22日	プロジェクト名称決め、イベント内容検討	15名	第3回	令和7年6月18日	イベント内容決定、開催日決定	10名	第4回	令和7年8月13日	事前認識合わせ	
回数	開催日	主な議題	参加メンバー																				
第1回	令和7年4月16日	プロジェクト趣旨・背景説明、メンバー紹介	12名																				
第2回	令和7年5月22日	プロジェクト名称決め、イベント内容検討	15名																				
第3回	令和7年6月18日	イベント内容決定、開催日決定	10名																				
第4回	令和7年8月13日	事前認識合わせ																					
今後の予定	<p>9月以降は、コミュニティセンターにおいて、子供たちの宿題や勉強の見守り、昔遊びなどの世代間交流を通じて、地域の居場所づくりに取り組んでいく予定です。日々の小さな取り組みを通じて、まずは保護者の方々にもプロジェクトの存在や目的を知ってもらい、子供の引率などをきっかけに気軽に参加してもらうことで、地域で活動する団体の取り組みや魅力を知ってもらう機会となればと考えています。そこから徐々に関心を深めていただき、最終的には地域コミュニティへの主体的な関わりにつなげていくことを目指します。</p>																						
その他	<p>・別冊資料：当日の様子等</p>																						

はぐみ-YELL 砂山



8/18(月) 13:30-16:00

@西コミュニティセンター 多目的ホール(大)

13:30-14:45

ぼうさい
防災ゲームで
たの まな
楽しく学ぼう!

15:00-16:00

ぼうさい
防災スポーツで
しんけん しょうぶ
真剣勝負!

※会場は17:00まで開放しています (スタッフ常駐)

→防災を楽しく学ぶクイズやゲームがもりだくさん!

「はぐみ-YELL 砂山」って???

「はぐみ-YELL 砂山」は、砂山地区のみんなであらたな居場所づくりに取り組むプロジェクトです。

「いってらっしゃい!」や「おかえり!」がこどもたちの安心をつくるように、

地域の育みにつながるさまざまな“きっかけ”を見つけながら、

これからの砂山を支える世代へとつないでいきます。

✓ 定員30名

✓ 参加無料



お問い合わせ
お申し込みは
←←←

主催: 「はぐみ-YELL 砂山」実行委員会

砂山地区連合自治会、砂山地区地域活動連絡協議会、砂山地区消防分団、砂山地区社会福祉協議会、砂山地区公民館、

砂山地区民生児童委員会、砂山地区安全推進員会、砂山婦人会、砂山地区老人クラブ連合会、むつみこども園父母の会

協力: 和歌山市生涯学習課、和歌山市中消防署、和歌山市社会福祉協議会、摂南大学現代社会学部FAL和歌山市チーム

砂山地区実践活動報告

会議	砂山地区プロジェクト第1回打ち合わせ（キックオフ会議）		
日時	令和7年4月16日 13:30～15:00	場所	西コミュニティセンター 多目的ホール小
参加者 (敬称略)	プロジェクトメンバー		
	連合自治会 松田 盛夫	公民館 西風 章世	社会福祉協議会 檜原 雅忠
	地域活動連絡協議会 山本 美保 (和歌山市社会教育委員)	婦人会 宮井 旬子	地域安全推進委員会 木村 博至
	むつみ保育園父母の会 名河内 佑也		
	オブザーバー		
	和歌山市社会教育委員 上野山 裕士	和歌山市社会福祉協議会 左巴 誠人	
	和歌山市生涯学習課 末吉 栄作	和歌山市生涯学習課 前田 直彦	和歌山市生涯学習課 吉田 晃平
議事	<p>1、開会 山本美保氏よりあいさつ。</p> <p>2、自己紹介 各参加者より自己紹介を実施。</p> <p>3、これまでの経緯と本会の趣旨について 和歌山市生涯学習課より、これまでの経緯と趣旨について説明。</p> <p>4、リーダー、サブリーダー決め ・リーダーは、山本 美保氏で決定。 ・サブリーダーは、後日決めることで決定。</p> <p>5、実施していききたいことの共有 ・上野山社会教育委員より事例紹介（高松地区で実施した「みんなの夏休み」報告） ・山本社会教育委員より単発行事ではなく、複数回実施の行事としたい。また、日頃の活動の幅を広げ、学生さんの意見を聴きながら新しい取り組みとしたいことを共有。</p> <p>6、概要 ・イベントに参加してもらい、そこから自治会や公民館などの活動に参加してもらい働き掛けるイメージ。 ・企画から入りたい方、当日の活動だけなら手伝える方など様々な形態があることを、皆の共通認識としてほしい。まずは活動に参加してもらい、いろんな関わり方があることを壮年層に知ってもらう。 ・子供だけでなく、子供に付いてくる保護者へアプローチ（「壮年層へのアプローチ」を最終目的としているため、20代～40代の保護者を対象）したい。子供のためなら参加するという保護者も多い。 ・イベントはきっかけ作りであり、イベントに参加している子供に付いてきている親がターゲット。 ・単なる子供向けのイベントで終わらないように、若い親と一緒に地域に参加していけるようなイベントがよい。親同士のつながりを作ることも重要。</p>		
決定事項	<p>・「壮年層へのアプローチの仕方」として、子供行事をきっかけにして、親（壮年層）と一緒に参加してもらう。</p> <p>・今回の打ち合わせの内容を踏まえ、摂南大学の学生さんを中心にイベント案を検討してもらい、次回の打ち合わせにて具体的な案を決めていく。</p> <p>・サブリーダーについては、むつみ保育園父母の会 名河内氏の推薦があった。次回、決定予定。</p>		
次回開催日	令和7年5月22日（木） 13:30～15:00 1階活動室（中）		

砂山地区実践活動報告

会議	砂山地区プロジェクト第2回打ち合わせ		
日時	令和7年5月22日 13:30~15:00	場所	西コミュニティセンター 活動室(中)
参加者 (敬称略)	プロジェクトメンバー		
	連合自治会 松田 盛夫	公民館 西風 章世	社会福祉協議会 樫原 雅忠
	消防分団 中原 清隆	地域活動連絡協議会 山本 美保 (和歌山市社会教育委員)	婦人会 宮井 句子
	地域安全推進委員会 木村 博至	連合老人クラブ 佐野 康男	むつみ保育園父母の会 名河内 佑也
	摂南大学現代社会学部 F A L和歌山市チーム 大橋 美優		
	オブザーバー		
	和歌山市社会教育委員 上野山 裕士	和歌山市社会福祉協議会 左巴 誠人	
	和歌山市生涯学習課 末吉 栄作	和歌山市生涯学習課 前田 直彦	和歌山市生涯学習課 吉田 晃平
議事	<p>1、開会 プロジェクトリーダー 山本美保氏よりあいさつ。</p> <p>2、自己紹介 前回欠席の中原氏、佐野氏、大橋氏が自己紹介を実施。</p> <p>3、サブリーダー決め、会の名称決め サブリーダー：むつみ保育園父母の会 名河内 氏 に決定。 会の名称 :「はぐみ-YELL 砂山」 に決定。</p> <p>4、概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに1回イベントを実施し、その後継続的に続けていくプロジェクトとすべき。 ・他のイベントとの違うことが分かるように、「はぐみ-YELL 砂山」の名前、催しの趣旨が分かるように周知していくべき。興味を引くような宣伝をする必要あり。 ・今回は、防災関係のイベントがいいのでは。ただし、夏休みの期間は熱中症のリスク等も加味するべき。 ・予算については、社会福祉協議会より捻出することが可能。上限は10万、1つの催しに対して、地区社協が主催であれば、市社協から1/2の補助金が出る。 ・高松地区では費用の掛からないものを行っているが、砂山地区でもまずは、場作りのために、毎月小さいものを実施し、定期的なイベントとして継続していてもいいのではないか。 ・開催場所は、新しい西コミセンがいいのではないか。日程次第で学校も要検討。例えば、コミセンで防災に関する学習をした後に、防災公園に移動して、非常時の対応を学ぶ。夏休みの開催となれば、熱中症対策として、遅い時間帯がいいのでは。時間帯が遅いのであれば、保護者も出てきやすいのではないか。 ・防災公園を利用したサバイバル的なプロジェクトもいいのでは。炊き出し等になるのであれば、安全性の観点から防災公園での開催となるが、非常に費用が掛かる。防災用のアルファ米の購入であれば、市からの補助を利用できるので比較的安価に開催できるのではないか。 ・消防団としては、開催日は日曜日ありがたい。 		
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・防災公園等を利用したサバイバルプロジェクト(防災イベント)とする。(楽しく防災と災害の心構え) ・熱中症のリスクを考え、西コミセン(もしくは小学校)で活動後、夕方から防災公園に移動し、非常時対応の学習とするなど対策を検討する。 ・夏休みに1回イベントを実施するが、その後継続的な活動を行う。 ・子供と一緒に、保護者にもイベントに参加してもらいながら、地域の方も参加し繋がっていただく。 		
次回開催日	令和7年6月18日(水) 13:30~15:00 3階多目的ホール(大)		

砂山地区実践活動報告

会議	砂山地区プロジェクト第3回打ち合わせ		
日時	令和7年6月18日 13:30~15:00	場所	西コミュニティセンター 多目的ホール (大)
参加者	プロジェクトメンバー		
(敬称略)	連合自治会 松田 盛夫	社会福祉協議会 樫原 雅忠	消防分団 中原 清隆
	地域活動連絡協議会 山本 美保 (和歌山市社会教育委員)	婦人会 宮井 旬子	地域安全推進委員会 木村 博至
	連合老人クラブ 佐野 康男		
	オブザーバー		
	和歌山市社会教育委員 上野山 裕士	和歌山市生涯学習課 前田 直彦	和歌山市生涯学習課 吉田 晃平
議事	<p>1. 開会</p> <p>プロジェクトリーダー 山本美保氏よりあいさつ。</p> <p>2. イベント内容の決定</p> <p>上野山社会教育委員から摂南大学現代社会学部FAL和歌山市チーム大橋氏の検討案を紹介。(別紙参照)</p> <p>ポイント ・砂山地区の中で継続的・定期的な居場所作りを行う。</p> <p>・居場所作りに取り組んでいくことを地域の方に知ってもらう。</p> <p>3. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症や天候も考慮し、屋内イベントとして検討する。 ・内容を1部：座学、2部：体を動かすなどに分けてメリハリをつけて実施する。 ・屋内であれば、早い時間でのイベント開始が可能。 ・希望者に第3部として、会場を開放しても良いのではないかと。3部では防災に関する紙芝居クイズなど。 ・7月の実施は、大学のテスト期間に入っているため摂南大学の方の参加が難しい。開催日は8/18が良い。 ・消防団員は平日の参加は難しい。中署の消防職員であれば、人工呼吸の案内などの講習は可能のはず。 ・摂南大学の大学生は数名参加可能。イベントの大枠が決まれば、樫原氏から県和商にも声掛け可能。 ・子供用の防災バックなど、子供目線に立った専門的な話があった方が実りあるのではないかと。 ・「きいちゃんの災害避難ゲーム」の貸し出しを利用する。 ・キャタピラーを実施する場合、多目的ホールの床は固いのでサポーターが必要。 ・消防が毛布を使った救助など、中消防署に依頼すれば、機材等もあるので協力してくれる。 ・周知方法は、チラシを作成。FAL和歌山市チームが作成。QRコードで申込とし、参加者の管理も実施する。チラシは6月中旬に作成。募集人数は、子供30名程度。保護者の付き添い有無は事前に参加有無を確認しておく。 ・防災バックの見本があるかどうか、中消防署に確認する。備蓄品を利用していいかも併せて確認する。 ・地域のスタッフも10人強くらいは必要。チラシ作成後、高校生も声を掛ける。 ・キャッチコピーの良い案があれば、早めにLINEなどで提案すること。 ・チラシの印刷は、上野山社会教育委員が対応可能。 ・それぞれの実施内容でどれくらいの人が必要か、人数配分が決まり次第共有する。 		
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・西コミセンを利用した防災イベントし、開催日は、8/18(月)とする。 ・1部(13:00~14:30):防災すごろく、2部(15:00~):キャタピラー・毛布担架、3部(16:00~)フリー ・募集人数は、30名程度。6月中旬にチラシを作成し、7月前半で配布。定員30名になり次第締め切り。 ・はぐみYELL砂山でライングループを作成し、話を進める。次回打ち合わせ日もLINEで調整予定。 		
次回開催日	LINEで別途調整		